

平成30年7月12日  
九州地方整備局**有明海・八代海において大量の漂流物を回収中（第一報）**

～ 平成30年7月豪雨に関する九州地方整備局の取組 ～  
 海洋環境整備船「海輝」<sup>かいき</sup>「海煌」<sup>かいこう</sup>による漂流物回収

平成30年7月豪雨に伴う大雨の影響により、有明海・八代海において流木をはじめとした大量の漂流物が確認されました。

国土交通省九州地方整備局熊本港湾・空港整備事務所では、航行船舶の安全を確保するため、海洋環境整備船「海輝」・「海煌」により、漂流物の回収作業を実施しています。

7月9日～11日までの3日間で、既に107.3m<sup>3</sup>（内、流木35本を含む）の漂流物を回収しており、これは過去5年の月平均回収量（約120m<sup>3</sup>）に迫る量です。

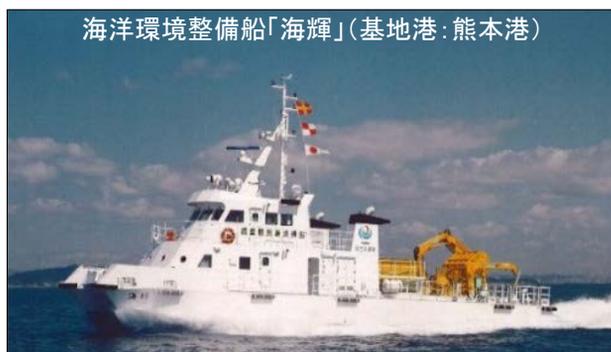
今後も引き続き回収作業を実施していきます。



7月9日 多比良沖付近の状況



回収した漂流物で満載になったコンテナ



海洋環境整備船「海輝」(基地港:熊本港)



海洋環境整備船「海煌」(基地港:八代港)

参考:「海輝」「海煌」は有明海・八代海の漂流ごみ回収と環境調査を行っている海洋環境整備船です。

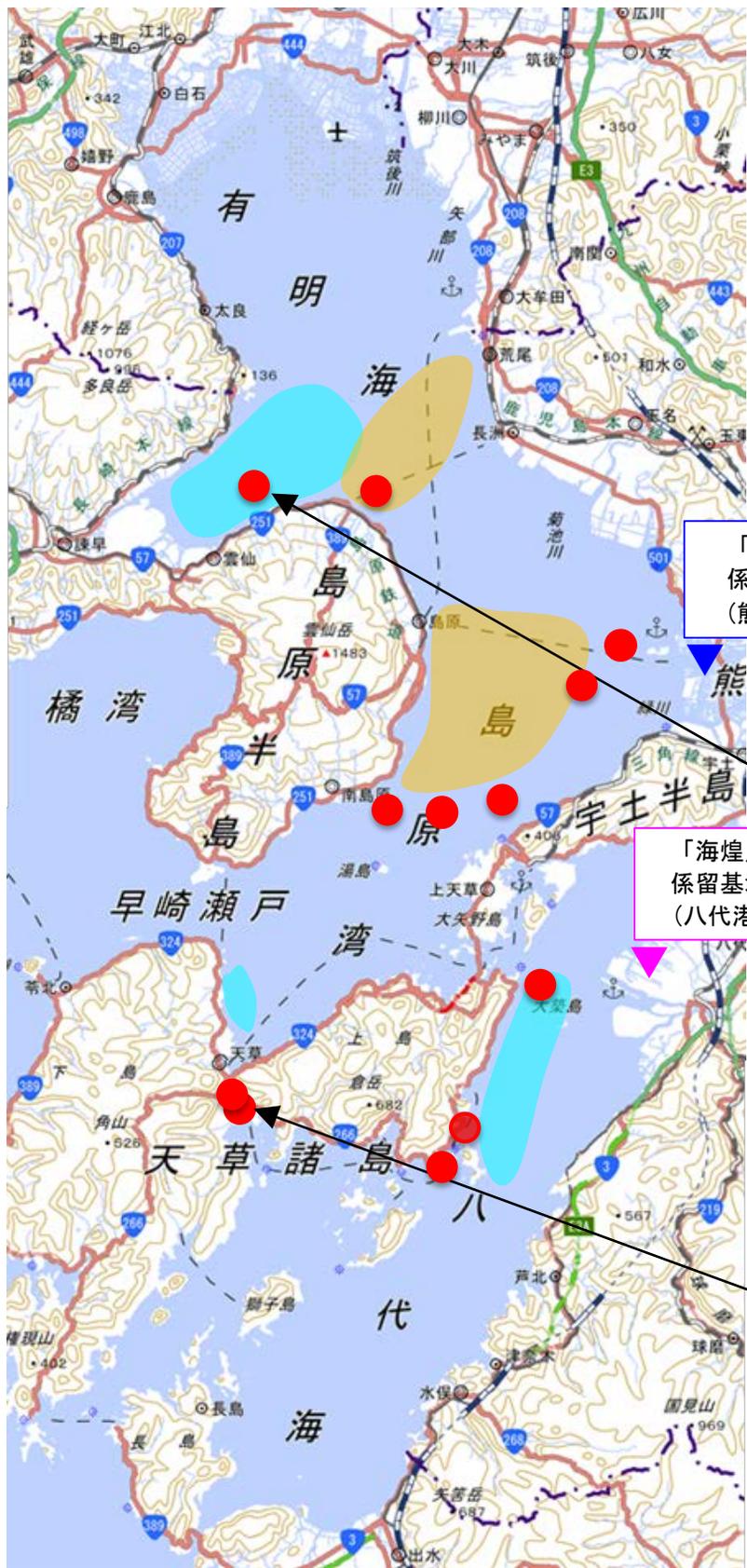
**【問い合わせ先】**

国土交通省	九州地方整備局	港湾空港部	海洋環境・技術課
		課長 本田 一行	代表: 092-418-3380
国土交通省	九州地方整備局	熊本港湾・空港整備事務所	
		副所長 中川 雅登	代表: 096-357-0222

【7月9日～7月11日の漂流物回収位置及び回収量】

漂流物回収位置

漂流物回収実績



【海輝による回収量】

萱・草、竹等 35.8m<sup>3</sup>  
(内、流木 13本含む)

【海煌による回収量】

萱・草、木片等 71.5m<sup>3</sup>  
(内、流木 22本含む)

「海輝」  
係留基地  
(熊本港)

「海煌」  
係留基地  
(八代港)

ごみ漂流状況 (7/9多比良沖)



回収結果 (7/9多比良沖)

根が付いた流木の回収状況  
(7/10本渡瀬戸大門)

● : 回収位置

■ : 漂流ごみの情報が寄せられた海域

■ : 熊本港湾・空港整備事務所が更に漂流ごみを確認した海域